

「地域を支える建設業」検討会議

第36回全体会議

(一社)長野県建設業協会 提出資料

- 1 要望事項等資料No.1
 - ① 平成30年度補正予算と平成31年度当初予算の執行について
 - ② 公共工事設計労務単価の引き上げについて
 - ③ 失格基準価格の引き上げについて (資料No.1-1)
 - ④ 平成30年度長野県建設産業担い手確保・育成地域連携ネットワーク会議の成果の速やかな実施について..... (資料No.1-2)

- 2 報告事項
 - ① プレミアムサタデーの実施状況について.....資料No.2
 - ② 平成30年度建設系高校との意見交換会について.....資料No.3
 - ③ 東海工業専門学校金山校との連携協力に関する協定について..資料No.4
 - ④ 青年部会活動報告資料No.5
 - ⑤ 女性部会活動報告資料No.6

「地域を支える建設業」検討会議 第36回全体会議 (H31.3.11)

(一社) 長野県建設業協会

1 要望事項等

① 平成30年度補正予算と平成31年度当初予算の執行について

国の平成31年度の公共事業予算は、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」により大幅な増加となること、また、今年度の第2次補正予算も、その初年度分として大幅な増加が見込まれます。

長野県建設部に於かれましても、平成31年度当初予算の要求額が、1,057億円余と平成30年度当初予算に対して、104.6%と大幅な増を要求されています。また、補正予算も大幅な増となるものと考えております。

公共事業予算の確保に対しまして御礼申し上げるとともに、補正予算と平成31年度当初予算の執行(発注時期、発注ロット等)のお考えを平準化対策と併せてお伺いします。

② 国においては、平成31年3月1日から「公共工事設計労務単価」、「技術者単価」が引き上げられます。「設計労務単価」は全国平均で前年度比+3.3%の増、平成25年度以降、7年連続の引き上げとなりますが、県におかれましては、いつから引き上げられのとお伺いします。

また、国におかれては平成30年度第二次補正予算の発注に当たっては、この新単価が反映されるとお聞きしていますが、県におかれましては、ゼロ工事国債、ゼロ県債の発注に当たり、この新単価が遡って適用されるのとお伺いします。

③ 失格基準価格の引き上げについて

失格基準価格の引き上げにつきましては再三お願いしているところですが、資料No.1-1のとおり、平成31年1月22日に公表された国土交通省の資料によりますと、平成29年度の長野県の競争入札平均落札率92.5%に対して隣接8県は94.3%であり、隣接県との差が平成28年度の1.3%から1.8%に拡大しています。また、埼玉県、東京都を除く隣接6県との差は、2.5%から2.8%に拡大しています。

第35回全体会議では、失格基準価格の引き上げ要望に対して、「中央公契連モデルが改定された際には検討したい。」とのお返事を頂いておりますが、公契連モデルの改定見通しについてお伺いするとともに、引き続き、失格基準価格の引き上げを要望いたします。(資料No.1-1)

④ 平成30年度長野県建設産業担い手確保・育成地域連携ネットワーク会議の成果の速やかな実施について

施策の方向性として、1) 建設産業の理解促進と多様な人材の活用、
2) 働きやすい・働きたくなる環境づくりと建設スキルアップへの支援、
3) 関係機関との連携強化に分類されて、建設産業に係る担い手確保・育成に関する取組がまとめられました。

産・学・官で連携していくという事で、建設業協会も役割分担に基づいて実施してまいります。全体として速やかに実施されますようお願い致します。

(資料No.1-2)

隣接8県 競争入札平均落札率の推移

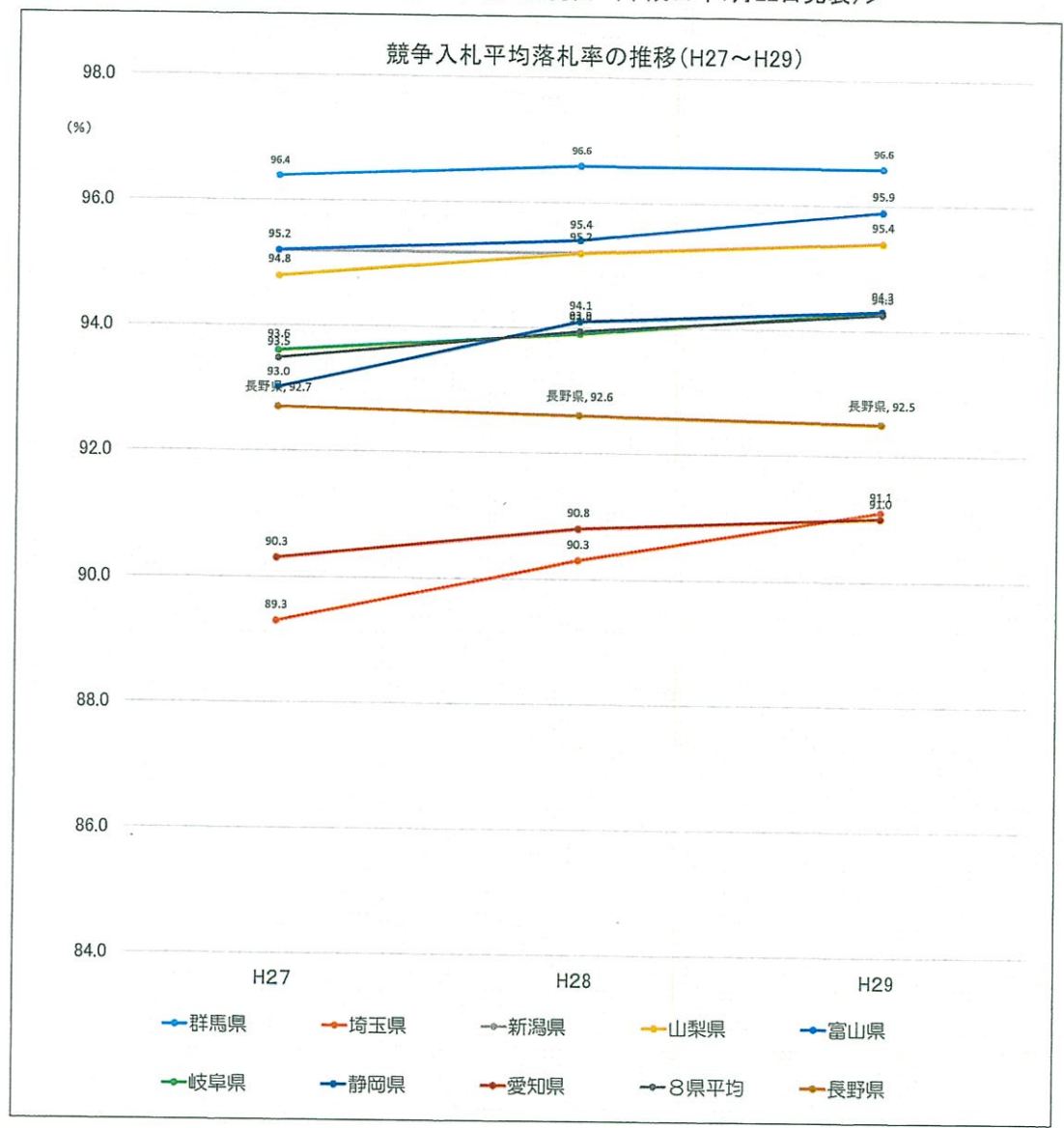
【出典】国土交通省土地・建設産業局 建設業課入札制度企画指導室資料より
 入札契約適正化法に基づく実施状況調査の結果
 <平成30年8月1日現在 (平成31年1月22日発表)>

○ H27年度～H29年度

県	競争入札平均落札率 (%)		
	H27	H28	H29
群馬県	96.4	96.6	96.6
埼玉県	89.3	90.3	91.1
新潟県	95.2	95.2	95.4
山梨県	94.8	95.2	95.4
富山県	95.2	95.4	95.9
岐阜県	93.6	93.9	94.3
静岡県	93.0	94.1	94.3
愛知県	90.3	90.8	91.0
8県平均	93.5	93.9	94.3
長野県	92.7	92.6	92.5

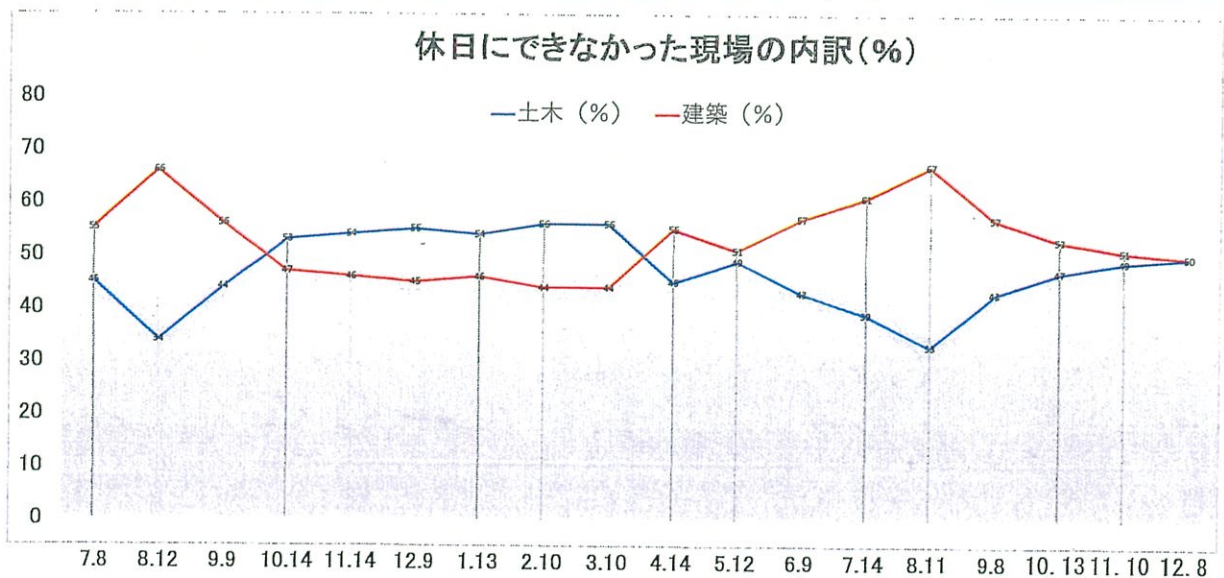
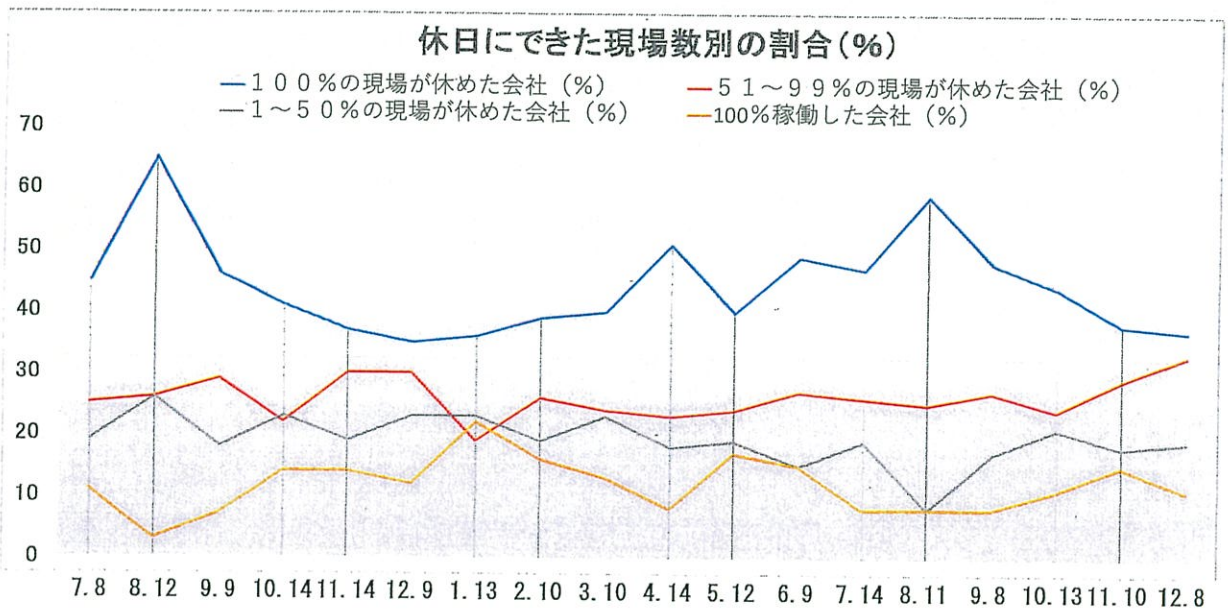
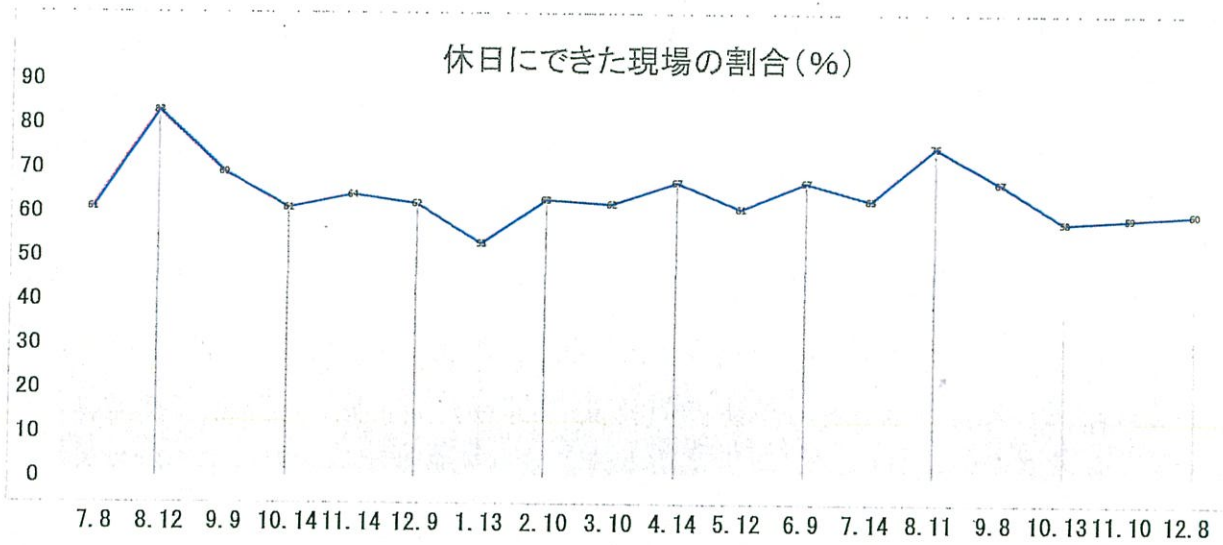
(埼玉県、愛知県除く)

県	競争入札平均落札率 (%)		
	H27	H28	H29
群馬県	96.4	96.6	96.6
新潟県	95.2	95.2	95.4
山梨県	94.8	95.2	95.4
富山県	95.2	95.4	95.9
岐阜県	93.6	93.9	94.3
静岡県	93.0	94.1	94.3
6県平均	94.7	95.1	95.3
長野県	92.7	92.6	92.5



プレミアムサタデーの実施状況 (H29.7~H30.12)

(一社)長野県建設業協会



建設産業に係る担い手確保・育成に関する取組

- (1)建設産業の更なる認知度の向上
 (2)建設人材の県外流出の防止と県外からの確保
 (3)建設産業の持続的経営安定と労働環境の更なる改善
 (4)若手人材の育成と技術継承
 (5)ICT等を活用した建設産業の生産性向上と更なるスキル向上

- A 担い手の確保
 B 担い手の育成
 O 働き方改革

網掛けは、連携を強化すべき事項

番号	取組内容	対応する課題	役割分担			区分1	区分2
			産	学	官		
①	自分たちでつくるプロジェクト	(2) (4)	県建設業協会 県測量設計業協会	建設系学科高校	長野県建設部	若者	A B
②	2級土木・建築施工管理技士試験準備講座	(4)	県建設業協会	建設系学科高校	長野県建設部	若者	A B
③	SNS等による情報発信	(1) (2)	県建設業協会	建設系学科高校	長野労働局 長野県産業労働部 長野県建設部	若者 UIターン	A
④	普通高校の教員・生徒と建設業界が繋がる機会の確保	(1)	県建設業協会	普通学科高校	長野労働局	若者	A
⑤	建設産業のPR(小・中学生を対象とした出前講座や現場見学会の開催)	(3)	県建設業協会 県測量設計業協会	小・中学校	長野県産業労働部 長野県建設部	若者	A
⑥	建設系学科高校の女子生徒増加の取組	(4)	建設業振興基金 県建設業協会	建設系学科高校	長野県建設部	若者 女性	A
⑦	女性技術者のネットワークづくりの支援	(4)	建設業振興基金 県建設業協会	—	—	女性	A
⑧	各関係機関の支援施策の有効活用	(3)	県建設業協会 県測量設計業協会	—	長野労働局 ポリテク長野 長野県産業労働部	障がい者 高齢者	A
⑨	建設産業入職への道筋や入職後のキャリアアップ事例の整理・情報発信	(1)	建設業振興基金 県建設業協会 県測量設計業協会	建設系学科高校	長野県建設部	共通	A
⑩	建設産業のPR(求職者を対象とした出前講座や現場見学会の開催)	(1)	県建設業協会 県測量設計業協会	—	長野労働局 長野県建設部	共通	A
⑪	建設キャリアアップシステムの活用推進	(4)	建設業振興基金 県建設業協会	—	長野県建設部	共通	B
⑫	関係機関の支援施策の有効活用による資格取得の促進	(4)	県建設業協会 県測量設計業協会	—	長野労働局 ポリテク長野 長野県建設部	共通	B

番号	取組内容	対応する 課題	役割分担			区分1	区分2
			産	学	官		
⑬	研修制度や優良技術者表彰制度等の運用改善	(4)	—	—	長野県産業労働部 長野県建設部	共通	B
⑭	建設現場等の労働環境整備や福利厚生の充実	(3)	建設業振興基金 県建設業協会 県測量設計業協会	—	長野労働局 長野県建設部	若者 女性	C
⑮	ICT活用工事推進等の新技術の活用	(5)	県建設業協会 県測量設計業協会	—	ポリテック長野 長野県建設部	共通	C
⑯	週休2日制促進のための工期設定、増加経費の適正計上等	(3)	県建設業協会 県測量設計業協会	—	長野県建設部	共通	C
⑰	社会保険等の加入対策を促進	(3)	県建設業協会 県測量設計業協会	—	長野労働局 長野県建設部	共通	C
⑱	ITスキルの習得やテレワークが可能となる職場環境整備	(3)	県建設業協会	—	長野県産業労働部	共通	C
⑲	適正な賃金の支払いを評価する入札制度の試行	(3)	—	—	長野県建設部	共通	C

平成30年度建設系高校との意見交換会について

日程	支部	高校	出席者 [開催場所]	主な意見交換内容
H30. 11. 7	中高 飯山	中野立志館高等学校	<p>【高校】 田村校長、岸先生、竹内先生、関先生、</p> <p>【協会】 中高支部：塩川支部長、下田副支部長、黒岩青年部担当、土屋総務担当 飯山支部：藤巻支部長、江口副支部長、水野副支部長、福澤総務担当</p> <p>[中野立志館高校]</p>	<p>・カリキュラムマネジメントについて</p> <p>1) 就職してから役に立つカリキュラム編成 (資格検定、現場体験、実習、PC操作、土木基礎力学の取組み。総合学科故の柔軟な単位数)</p> <p>2) 建設業協会での実習支援の在り方 (1年生・2年生でのインターンシップ、実態に即した教育)</p> <p>・地元企業への就職希望について (他地域から来る生徒が多い、高い離職率、技能職への希望)</p> <p>・地域独自の課題について (全県で一番少子化の進行が早いのが飯山、2番目が中野・須坂)</p>
H30. 11. 8	更埴 上小	丸子修学館高等学校 上田千曲高等学校	<p>【高校】 丸子修学館：伊藤先生、松田先生、戸兵先生 上田千曲：土屋先生、伊藤先生、清水先生、西原先生、宮下先生</p> <p>【協会】 更埴支部：石井支部長、諏訪総務委員 上小支部：柳沢支部長、青木副支部長、佐藤総務委員、栗木理事、春原理事、小河原理事、山浦監事、岩下青年部会員</p> <p>[上小建設会館]</p>	<p>・建設系カリキュラムマネジメントについて</p> <p>1) 就職してから役に立つカリキュラム編成 (技能者と技術者の違いについて、国家資格試験を受験できる単位数、土木の受験地が県内に無い、技能系の資格取得費用が高い、PCのスキルアップ)</p> <p>2) 建設業協会での実習支援の在り方 (1年生にインターンシップ義務付けているが業種指定無し、基礎学習能力に乏しい、現場見学会の増、卒業生による業種説明の機会確保)</p> <p>・地元企業への就職希望について (地元建設企業の認知度、就職先勧める基準・企業のアピール、会社を選ぶ際の優先度、保護者の理解)</p>

日程	支部	高校	出席者	主な意見交換内容
H30.11.13	木曾	木曾青峰高等学校	<p>【高校】横野校長、高木先生、中村先生</p> <p>【木曾建設事務所】米倉所長</p> <p>【協会】加藤支部長、奥田副支部長、大沢理事、砂山理事、杉山理事、青木理事、澤口監事、田口監事、南事務局長</p> <p>[木曾建設会館]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設系カリキュラムマネジメントについて <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職してから役に立つカリキュラム編成 (土木施工・測量等の実習、車両系建設機械等の資格取得) 2) 建設業協会での実習支援の在り方 (測量・丁張設置、JW-CAD・図面作成、払機取扱作業者安全衛生教育・実習) ・地元企業への就職希望について (殆ど地元から離れるが将来戻れる環境がほしい、建設業についての理解、親の理解) ・地域独自の課題 (建設関連学科の設置と充実、地元就職者への優遇制度の創設、建設業へ入りやすい環境整備)
H30.11.19	伊那	上伊那農業高等学校	<p>【高校】藤江校長、神道先生、宮下先生、鈴木先生</p> <p>【協会】唐木支部長、桃澤副支部長、宮下総務委員長、黒河内総務副委員長、栗原建設政策委員長</p> <p>[上伊那農業高校]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設系カリキュラムの取組について (緑地創造科の土木系科目として、農業土木施工・造園計画・造園技術・測量・施工プラン、コミュニティデザイン科の土木系科目として、総合実習・森林科学・水環境・測量) ・建設系生徒の進路等について (親の意向が強い、土木系に進むのは約10%、ブランド企業・給料が高い・休日等待遇の良い企業に人気がある) ・H30新卒採用状況等 ・生徒の立場から建設業界へ望むこと (体を動かし重機オペ等で働くつもりが、机上勉強は苦痛、ライフスタイルを守りたい、インターンシップの受入れを夏休み時期でなく2年生の3月頃が良い) ・建設業界から高校に期待すること (基礎学力不足、一人でも多くの生徒が地元で就職を期待する)

日程	支部	高校	出席者	主な意見交換内容
H30.11.19	大北	池田工業高等学校	<p>【高校】伊藤先生、矢原先生、山下先生、矢口先生、水上先生</p> <p>【協会】郷津支部長、倉科総務委員長、峯村総務副委員長、長屋総務副委員長、森田事務局長</p> <p>[池田工業高校]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントについて <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職してから役に立つカリキュラム編成 (インターンシップは夏休み中に2年生参加、3年生の求職活動については基本的に求人票の中から生徒と保護者が希望する企業に応募) 2) 協会の実習支援の在り方について (土木現場と建築現場の見学と体験実習を行って頂くのが良い(高校)、事前にアンケート方式で生徒から意向・要望を聞いて尊重して計画を立てたい(協会)) ・地元企業への就職希望について (例年6～7割の生徒が就職し、その内6～7割が建設業関係) ・地域独自の課題 (生徒の多くは職種と地域を絞って求人票を見ている。最終的には会社見学をして納得した上で応募。ハローワーク(HP)での求人関連の情報は早く載せて見れるようにしてほしい(生徒は早くから就職活動を始める)、求人票の就業条件と入社後の仕事内容の違い、池工版デュアルシステムが始まって13年目) ・建設業界へ望むこと (卒業生等から経験談を聞ける場を設けて、時間的・精神的にゆとりの持てる職場、若い人を育成していこうとする意識)

H30. 11. 19	南佐久 佐久	佐久平総合技術 高等学校	<p>【高校】 牧村教頭、松枝先生 他4名の先生方</p> <p>【協会】 依田副会長、北原支部長 唐沢支部長、丸山副支部 長、松本副支部長、矢野副 支部長、黒澤総務委員長、 谷総務委員長、菊池副委 員長、高野副委員長</p> <p>[佐久平総合技術高校]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ カルキュラムマネジメントについて 1) 就職してから役に立つカリキュラム編成 (直接建設業に関係する授業は多くない) 2) 協会の実習支援の在り方について (1.2年生のうちに現場見学会やインターンシップなどの支援を してもらいたい) ・ 地元企業への就職希望について (地元への就職希望の意識は強いが、業種は製造業への就職希望 が多い) ・ 地域独自の課題 (現在建設に多少関係する学科でも、“環境共生コース”という名 前であり、入学する時から建設希望の学生はほとんどいないの ではないか) ・ 建設業への関心及び学校の取組みについて (学校では、年2回進路ガイダンスを行っている) (インターンシップにも取り組んでいる) ・ 今後、高校に取り組んでいただきたいこと (先生方にも、地元の建設企業がどのような仕事をしているのか 実態を知ってもらいたい。長野工業では産業界との連携を図り ながらカリキュラムを行っている例もあるので、佐久平総合技 術高校でも取組みを考えて頂きたい) ・ 今後、建設業協会が取り組むべきこと (“生徒は実際にやってみると興味が沸く”ので、機械の操作をし てみるとか、図面をCADで描いてみるなど、実際の仕事を体験 できる機会を設けてはどうか) <p>(小諸・佐久の商工会議所では2年生の10月にインターンシップ を毎年行っています。建設業協会でも参加してみてもどうか)</p>
-------------	-----------	-----------------	--	--

日程	支部	高校	出席者	主な意見交換内容
H30.11.21	飯田	飯田 OIDE 長姫高等学校	<p>【高校】原校長、松原教頭、木下先生、清水先生、</p> <p>【協会】北沢支部長、長坂副支部長、吉川副支部長、野島会計理事、福澤総務副委員長、勝間田総務副委員長、牧田事務局長</p> <p>[飯田 OIDE 長姫高校]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントについて <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職してから役に立つカリキュラム編成 (ICT・CAD含めてPC関係) 2) 早期離職について (学校で学ぶ土木の仕事と現場とのギャップ、相談する人) 3) 協会の実習支援の在り方について (インターンシップは3日が良い、内業より外業を望む、水準測量やトラバース測量の基本学習) ・建設系生徒の進路について (技術系、建築は殆ど現場管理の仕事、県外へ進学すると戻ってこない、女子の生徒が地元企業で活躍できる方法考えたい、保護者の企業見学機会) ・地域独自の課題 (新3Kの希望は学校側・協会側同じベクトルをもって努力、課題研究発表会の評価、学科共通科目の検討、女性技術者の講義) ・その他 (建設関係の色々な職種・仕事内容を授業で教えてほしい)
H30.11.22	松筑 安曇野	南安曇農業高等学校	<p>【高校】武藤教頭、黒沢先生、日詰先生、田口先生、本田先生</p> <p>【協会】松筑支部：清澤副会長、平林副支部長、川瀬総務委員長 安曇野支部：降幡支部長、小松副支部長、小林総務委員長、横山建設技術委員長、酒井事務局長</p> <p>[南安曇農業高校]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種実務研修 (U字溝設置実務研修、農業土木専門職員が少なく現場・実務研修は職員にとっても貴重な場であり継続を希望) ・土木関係への就職状況 (土木関係への就職が右肩上がり (松筑支部が約7割)、離職率も全国・県平均よりかなり低いと認識) ・夏季企業研修 (夏季休暇中の1週間、引き続き希望する) ・進路ガイダンス (12月に2年生のガイダンスを実施、生徒へのアンケートによる率直な意見・希望をフィードバックして頂きたい、建設業協会の方の企業講話が好評) ・資格試験事前講習会の講師費用支援

日程	支部	高校	出席者	主な意見交換内容
H30.12.13	長野	長野工業高等学校	<p>【高校】森本校長、掛川先生、五味先生、川俣先生、長崎先生</p> <p>【協会】岡澤支部長、和田副支部長、飯島副支部長、藤森総務委員長、鹿熊専務、小池社長、田中社長、高山社長、清水社長、片桐取締役、内川代理、大日方社長、小山田社長、千野事務局長</p> <p>[ホテル信濃路]</p>	<p>(高校側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ若い 技術者か技能者か 定まらない→離職につながる ・離職の生徒は事前に先生に相談は一切ない ・生徒は冒険心をもたないような育てられ方をしている ・就職は、求人案内の休日・給与・福利厚生を重視するよう指導 ・初任給について企業間の格差が結構ある ・企業の離職率も考慮するよう指導している ・土木に限ってでないが生徒は土木をやりたくて入学していない ・3年間かけて、当該の科の就職に進むような指導をしている ・学校でもやはり昭和の時代の価値観と若い世代とにギャップがあるとした上で、「私はこう思うが、君はどう思うか」と生徒に問う指導方法や、生徒は冒険や積極的な関わりを避ける傾向がある <p>(協会側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現は悪いが、鞭や飴で何とか一人前の3年目にやっところぎつけている ・建設業界冬季五輪からリーマンショックで現在従業員の25歳から35歳が空白状態である。新卒者をどの様に育てていいのか、どの様にコミュニケーションをとっていいのか苦慮 ・求人案内に離職率を明記することはおかしい すべての企業において離職があるので建設業に限ったことではない ・就職した卒業生がどんな動機で入社したか、どんな指導が効果的だったかなど、可能な範囲でアドバイスがもらえると、職場での育成に役立つ

日程	支部	高校	出席者	主な意見交換内容
H31. 1. 24	須坂	須坂創成高等学校	<p>【高校】平沢教頭、塩島先生、高梨主事</p> <p>【協会】小林支部長、田中副支部長、山崎副支部長、北條青年部長、伊藤事務局長</p> <p>[須坂創成高校]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進学、就職状況について (就職はどの科も3割から4割、就職者数はおよそ3割から4割、建設関係への就職は4人、大学・短大を選ぶにあたり学費の縛りは大きい、就職の場合保護者の意向が強い、子供たちは同じ話出来る友を求めている) ・学生の建設業に対するイメージ調査アンケートについて (就職を考える上で重要な要素は何ですかの問に対し①給料②社内の雰囲気③休日、やりがい の順 職場体験をしてみたい生徒の割合は男性で17.7%、女性で18.0%と女性の方が積極的、 体力的に厳しいとか男性の仕事と思っている。現場見学会では外で働く姿しか見えないので、事務所の中での仕事も見せることも考えていかなければならない。) ・インターンシップについて (友達との話の中で出てくる会社名がキーワードになっている) ・建設業のイメージアップ、理解について (技術者と技能者の違いを分かってほしい、多能工と呼んで何でもできるという会社が伸びている。職種の説明も必要(協会)) ・実習について (コンクリート打設見学は、作業員と話しができたりしていいきっかけになっている)

連携協力に関する協定書

一般社団法人 長野県建設業協会と学校法人電波学園 東海工業専門学校金山校は、建設分野の発展を図るため相互に連携・協力して取り組む事について、次のとおり協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、一般社団法人 長野県建設業協会（以下「長建協」という。）と学校法人 電波学園 東海工業専門学校金山校（以下「東工専」という。）が、建設業務に係る分野で連携・協力することで、相互の発展と同分野の人材確保、人材育成に寄与することを目的とする。

(連携・協力事項)

第2条 長建協と東工専が連携・協力する事項は、次のとおりとする。

- (1) 教育訓練・研修等への長建協からの社内教育委託生の受け入れ
- (2) 建設業務に係る分野の入職促進・人材育成活動協力
- (3) 建設業務に係る情報の交換及び交流
- (4) インターンシップの受け入れ
- (5) 長建協及び東工専で実施する建設講習・教育活動への講師派遣
- (6) その他、長建協と東工専の協議に基づき実施する事項

(協議)

第3条 この協定書に定めるほか、連携に関する細目については長建協と東工専の協議のうえ別に覚書事項として定める。

- 2 円滑な進展を図るために、それぞれに連絡調整窓口を設置し、適宜協議するものとする。

(情報保護)

第4条 長建協と東工専は、この協定に基づく連携・協力にあたり知り得た情報等について、事前に相互の同意を得た情報等以外を第三者に対して、開示又は漏洩してはならない。

(協定の有効期限)

第5条 この協定書の有効期限は、連携協定締結日から当該年度末までとする。ただし、期間満了の3か月前までに長建協、東工専のいずれからも変更の申し入れがない時は、更に、もう1年継続するものとし、その後の取り扱いもまた同様とする。

(適用)

第6条 本協定は、締結日から適用する。

(雑則)

第7条 この協定書に定めのない事項、または、この協定書の運用に関し疑義が生じた場合は、両者協議のうえこれを定めるものとする。

この協定の締結を証するため、協定書を2通作成し、双方記名押印の上、各自その1通を保管するものとする。

平成31年 2月 6日

一般社団法人 長野県建設業協会

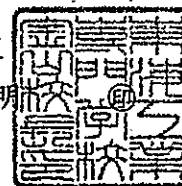
会長 木下



学校法人 電波学園

東海工業専門学校金山校

校長 野村 種明



平成30年度青年部会活動報告

(一社)長野県建設業協会青年部会

No	月 日	場 所	項 目	出 席 者	備 考
1	5月31日	(HP)	長建ヤングマン掲載(中部横断自動車道)		
2	6月14日	松筑建設会館	合同委員会(第1回部会)	青年部会員	
3	7月8日	南安曇農業高等学校	文化祭に長建ヤングマン出展、取材活動		
4	7月17日	協会	第1回役員会/H30活動計画の方針について	役員	
5	8月2日	協会	第2回青年部会/H30活動計画及び委員会メンバーについて	青年部会員	メディア委員会 行政・イベント委員会
6	8月31日	(HP)	長建ヤングマン掲載(南安曇農業高校文化祭)		
7	9月27日	協会	第3回青年部会/・県との意見交換会に向けた「担い手育成アンケート」実施について ・各委員会での検討	青年部会員	
8	9月30日	(HP)	長建ヤングマン掲載		
9	10月12日	(HP)	長建ヤングマン掲載(航空実播をしてみよう)		
10	10月23日	北條組工事現場など	長建ヤングマン青年部取材活動		
11	10月31日	(HP)	長建ヤングマン掲載(ヒーローヤングマン)		
12	11月12日	美笹深宇宙探査用アンテナ工事現場など	長建ヤングマン青年部取材活動	矢野副部長他	
13	11月19日	鹿熊組工事現場など	長建ヤングマン青年部取材活動		
14	11月28日	協会	第4回青年部会/・「担い手育成アンケート」の結果について ・各委員会での検討事項	青年部会員	
15	11月30日	(HP)	長建ヤングマン掲載(ヒーローヤングマン、中野立志館との懇談会)		北信担当
16	12月5日	岡学園	平成31年度のポスター制作における、岡学園(岡校長)と連携についての打合せ	北條部長	
17	12月28日	(HP)	長建ヤングマン掲載(ヒーローヤングマン、解体工事を見てみよう、深宇宙探査工事を見てみよう)		東信担当
18	1月23日	協会	第5回青年部会/・県との意見交換会の内容の確認等	青年部会員	
19	1月28日	長野市	長野県建設部と意見交換会	青年部会員	
20	1月30日	(HP)	長建ヤングマン掲載(ヒーローヤングマン)		
21	2月28日		長建ヤングマン掲載(飯田OIDE長姫高校がインターロッキング施工に挑戦)		
22	3月1日	協会	LIFEの制作内容の確認 「土木の日」のイベント開催内容の検討		

*「LIFE」発刊は平成31年3月の予定

(一社) 長野県建設業協会女性部会

No.	月 日	場 所	項 目	出 席 者	備 考
1	5月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.12 掲載		南佐久支部担当
2	6月4日	協会	合同委員会事前打合せ会議	倉科部会長	30年度活動計画
3	6月14日	松筑建設会館	合同委員会(第1回部会)	女性部会員	
4	8月2日	協会	第1回役員会	役員	現場見学会他
5	9月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.13 掲載		大北支部担当
6	9月19日	協会	第2回女性部会	女性部会員	
7	10月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.14 掲載		佐久支部担当
8	10月22日	松筑建設会館	平成30年度現場見学会	75名	松本 内環状南線
9	10月28日	大町市	女性の職域拡大イベント (コンクリート調査現場見学)	倉科部会長 小宮山・佐藤副会長 山本・南方部会員	主催：県労働 雇用課
10	11月2日	協会	第2回役員会	役員	高専生意見交換
11	11月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.15 掲載		上小支部担当
12	11月9日	坂城町	女性の職域拡大イベント (製造業工場新築現場見学)	倉科部会長 小宮山・井浦副会長 丸山(京)部会員 丸山(恵)部会員	主催 県労働雇用課 (女性の就業支援事業)
13	11月14日	長野高専	高専女子生徒との意見交換会	役員	
14	12月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.16 掲載		諏訪支部担当
15	12月18日	東京都	建設産業女性活躍推進ネット ワーク会議(キックオフミーティング)	倉科部会長 小宮山副会長	主催：建設業 振興基金
16	12月19日	協会	第3回役員会		
17	1月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.16 掲載		伊那支部担当
18	1月28日	長野市	建設部との意見交換会	役員	青年部と合同
19	2月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.16 掲載		飯田支部担当
20	2月15日	松筑建設会館	平成30年度セミナー		
21	3月8日		第3回女性部会	女性部会員	
22	3月10日	(HP)	建設業で働く女性 インタビューVol.16 掲載		木曾支部担当